

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公開番号】特開2018-48147(P2018-48147A)

【公開日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-012

【出願番号】特願2017-186308(P2017-186308)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/202 (2006.01)

A 6 1 K 31/232 (2006.01)

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 2 3 C 9/152 (2006.01)

A 2 3 L 33/12 (2016.01)

A 2 3 L 33/115 (2016.01)

C 1 2 P 7/64 (2006.01)

C 1 2 M 1/40 (2006.01)

C 1 2 N 11/00 (2006.01)

C 1 2 R 1/01 (2006.01)

C 1 2 R 1/39 (2006.01)

C 1 2 R 1/845 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/202

A 6 1 K 31/232

A 6 1 K 38/46

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 11/00

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/14

A 2 3 C 9/152

A 2 3 L 33/12

A 2 3 L 33/115

C 1 2 P 7/64

C 1 2 M 1/40

Z

C 1 2 N 11/00

C 1 2 P 7/64

C 1 2 R 1:01

C 1 2 P 7/64

C 1 2 R 1:39

C 1 2 P 7/64

C 1 2 R 1:845

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月25日(2018.4.25)

【手続補正１】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

装置であって、

栄養組成物を受容するために内部を規定する容器、

前記容器の内部と流体連通する構造、及び

前記栄養組成物が前記容器内で受容される場合に、前記栄養組成物がリパーゼに曝されるように前記構造に固定化されたりパーゼ

を含み、ここで、

前記リパーゼが、前記栄養組成物内で長鎖多価不飽和脂肪酸（ＬＣ－ＰＵＦＡ）トリグリセリドを加水分解するように構成され、

前記栄養組成物が前記容器を出る場合に、前記リパーゼが前記容器内に留まるように、前記リパーゼが前記容器内に固定化される、装置。

【請求項２】

前記栄養組成物が前記容器に流入することを可能にするための第１の開口部を更に含む、請求項１に記載の装置。

【請求項３】

前記栄養組成物が前記容器を出ることを可能にするための第２の開口部を更に含む、請求項２に記載の装置。

【請求項４】

栄養補給チューブに接続するよう構成されている開口部を更に含む、請求項１に記載の装置。

【請求項５】

前記開口部に接続した栄養補給チューブを更に含む、請求項４に記載の装置。

【請求項６】

供給メカニズムである、請求項１に記載の装置。

【請求項７】

前記供給メカニズムが、経小腸装置又は瓶のうちの少なくとも１つである、請求項６に記載の装置。

【請求項８】

前記構造が、前記容器内の複数の粒子を含む、請求項１に記載の装置。

【請求項９】

前記粒子が、ボール又はビーズを含む、請求項８に記載の装置。

【請求項１０】

前記容器が、注射器外管を含む、請求項１に記載の装置。

【請求項１１】

前記構造が、前記容器の内面を含む、請求項１に記載の装置。

【請求項１２】

前記構造が前記容器の壁を含み、前記リパーゼが前記容器の壁内に固定化又は収容される、請求項１に記載の装置。

【請求項１３】

前記構造が、前記容器内の別個の区画の一部として含まれる、請求項１に記載の装置。

【請求項１４】

前記容器が開口部を含み、前記構造が前記容器の取り外し可能なキャップを含み、前記キャップが前記容器に固定された場合に、前記開口部を塞ぐように構成され、そして前記キャップが前記開口部を塞ぐ場合に、前記キャップが前記内部と流体接触するように配置

された表面上又は表面内に固定化される少なくとも1つのリパーゼを含む、請求項1に記載の装置。

【請求項15】

前記キャップが前記開口部を塞ぐ場合に、前記構造が前記容器の内部に面する前記キャップの表面から延伸する突起部を含む、請求項14に記載の装置。

【請求項16】

前記構造が、前記容器内の突起部を含む、請求項1に記載の装置。

【請求項17】

前記リパーゼが、脂肪酸に対しては透過性であるが前記リパーゼに対し不透過性である材料内に封入されている、請求項1に記載の装置。

【請求項18】

弁を更に含む、請求項1に記載の装置。

【請求項19】

前記リパーゼが、クロモバクテリウム・ビスコサムリパーゼ、シュードモナス・フルオレセンスリパーゼ、及びリゾプス・オリゼーリパーゼからなる群から選択される、請求項1に記載の装置。

【請求項20】

前記栄養組成物が前記容器を出る場合に、前記リパーゼが前記容器内に留まるように、前記リパーゼが前記容器内に固定化される、請求項1に記載の装置。

【請求項21】

前記装置内のリパーゼを保持するためのスクリーン又はフィルターとして機能する材料を更に含む、請求項20に記載の装置。

【請求項22】

巻き流路を更に含み、前記流路が、前記流路内に含まれる調合物への前記リパーゼの曝露を延長するように構成される、請求項1に記載の装置。

【請求項23】

前記リパーゼが、共有結合、吸着、イオン結合、架橋結合、カプセル化、又は閉じ込めのうちの少なくとも1つにより固定化される、請求項1に記載の装置。

【請求項24】

装置であって、
栄養組成物を受容するために内部を規定する容器、
前記容器の内部と流体連通する構造、及び
前記栄養組成物が前記容器内で受容される場合に、前記栄養組成物がリパーゼに曝されるように前記構造に固定化されたリパーゼ
を含み、ここで、
前記リパーゼが、前記栄養組成物内で長鎖多価不飽和脂肪酸（LC-PUFA）トリグリセリドを加水分解するように構成され、
前記装置が供給メカニズムであるか、又は供給メカニズムに接続するよう構成された開口部を含む、装置。

【請求項25】

前記装置に接続した栄養補給チューブを更に含む、請求項24に記載の装置。

【請求項26】

前記構造が、前記容器内に収容される粒子を含む、請求項24に記載の装置。

【請求項27】

前記供給メカニズムが、瓶または鼻腔栄養チューブのうちの少なくとも1つである、請求項24に記載の装置。

【請求項28】

前記リパーゼが、クロモバクテリウム・ビスコサムリパーゼ、シュードモナス・フルオレセンスリパーゼ、及びリゾプス・オリゼーリパーゼからなる群から選択される、請求項24に記載の装置。

【請求項 29】

前記栄養組成物が前記容器を出る場合に、前記リパーゼが前記容器内に留まるように、前記容器が構成される、請求項 24 に記載の装置。

【請求項 30】

前記容器内のリパーゼを保持するためのスクリーン又はフィルターを更に含む、請求項 29 に記載の装置。

【請求項 31】

前記リパーゼが、共有結合、吸着、イオン結合、架橋結合、カプセル化、又は閉じ込めのうちの少なくとも 1 つにより固定化される、請求項 24 に記載の装置。

【請求項 32】

前記栄養組成物が前記容器を出る場合に、前記リパーゼが前記容器内に留まるように、前記リパーゼが前記容器内に固定化される、請求項 24 に記載の装置。